

事業の背景・目的

サクラ等の樹木に被害を及ぼし、広域に拡散する恐れのあるクビアカツヤカミキリの防除を邑楽館林地域で連携して推進するもの。地域内でクビアカツヤカミキリの防除等に取り組む大泉高校、館林商工高校、館林高校の3校と連携し、生徒の意見を取り入れた普及啓発・研究活動の支援を通じ防除体制の構築を目指す。また、当協議会で作成した『クビアカツヤカミキリ被害レベル洞察マニュアル』を用いて被害状況に応じた防除方法を施行。被害状況が深刻な樹木については伐倒により被害拡大を防止している。

事業の内容

○邑楽館林地域の高校との連携事業

【大泉高校】

- ・防除対策の調査研究
- ・クビアカツヤカミキリに強いサクラの研究
- ・子どもにも伝わるクビアカツヤカミキリの周知啓発



【館林高校】

- ・文化祭での校内新聞・パネル等の展示



【館林商工高校】

- ・駆除啓発用動画の作成・公開
- ・ケーブルテレビでの周知啓発
- ・サクラへの樹幹注入体験



○被害木の伐倒事業

『クビアカツヤカミキリ被害レベル洞察マニュアル』を参考に、被害レベルの高い樹木を伐倒。



○その他防除事業

・邑楽館林地域内の被害調査
→被害状況について協議会で意見交換を行い、増減の要因、調査方法などの情報を共有した。

得られた成果

○邑楽館林地域の高校等の連携

→邑楽館林地域の高校との連携事業については、地元ケーブルテレビへの出演や文化祭での展示などにより地域住民のクビアカツヤカミキリに対する認知度の向上につながった。また、クビアカツヤカミキリに強いサクラの品種の検証・植栽活動や被害木の利活用など新たな研究課題も出てきており、引き続き協議会による連携事業と支援を予定している。

○被害木の伐倒事業・その他防除事業

→『クビアカツヤカミキリ被害レベル洞察マニュアル』を用いて伐倒対象木を選定し、被害レベルの高い32本を伐倒した。今年度の被害状況調査では、これらの事業の効果と調査精度の向上もあり、地域内の1市3町で被害本数が減少に転じている。